

生きものについて考える



福岡市には
どのような生きものが
生息しているのかな？

生きものつながり

福岡市の自然の中には、森や川、海などさまざまな環境(生態系)があり、その環境に合った生きものがくらしています。このさまざまな環境のなかで、生きものたちは食べたり食べられたり、生きもの同士で協力しあったりしながら、バランスを保って生きています。

たくさんの種類の生きものが複雑につながりあいながら、さまざまな環境に合わせて生活していることを「**生物多様性**」とよんでいます。

環境に合わせた生きもの暮らし



生物多様性がもたらす恵み

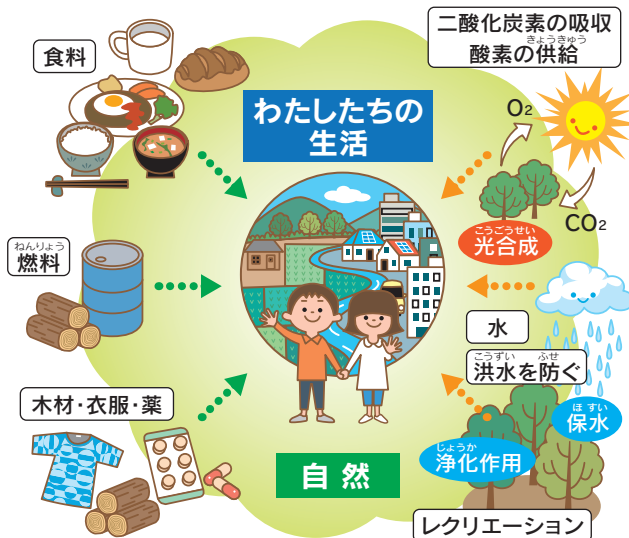
森は二酸化炭素を吸収し、酸素を作ります。また、ふった雨水をたくわえ、洪水などの災害からわたしたちを守ってくれています。食べ物やエネルギー、さまざまな製品の原料など、生活に欠かすことのできないものすべてが、生物多様性がもたらす自然の恵みです。



▲唐泊息比須かき



▲博多こま



▲森林(曲淵)



▲野鳥の観察(今津干潟)

生物多様性をおびやかす4つの危機

主に人間の活動が原因で、生物多様性がおびやかされ、たくさんの生きものたちが絶滅の危機に直面しています。

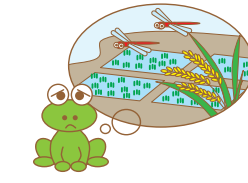
開発や乱獲

森、川、海が開発され、生きものすみかがなくなっています。鑑賞したり商品にしたりするために植物や動物が乱獲されています。



里山や田んぼの荒れ

山の手入れをする人や田んぼで米をつくる人が少なくなり、山や田んぼが荒れて、生きものがすめる場所が少なくなっています。



外来種の持ち込み

もともといなかった生きものを人間が持ち込んだことで、生態系や人の命・身体、農業などへ影響を与えるおそれがあります。

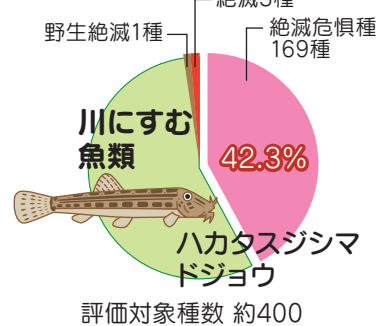
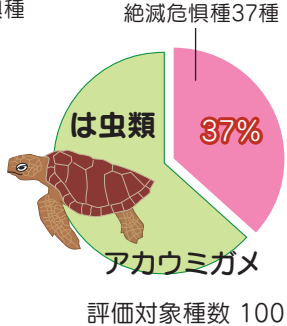
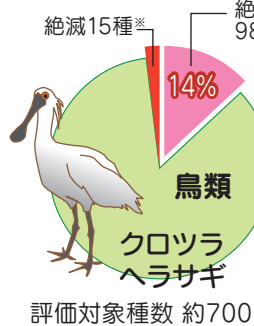
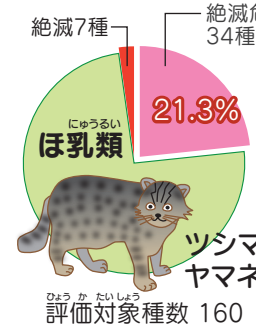


地球環境の変化

気温が上がって、生きものがすめる場所がなくなったり花が開く時期が変わったり、作物が実らなくなったりしています。



絶滅の危機にさらされる日本の野生動物



出典:レッドリスト2020(環境省)

生きものが絶滅してしまうと...

- バランスがくずれて、ほかの生きものにも悪い影響が出てしまう。
- 生物多様性が失われ、わたしたちが受けている自然の恵みも無くなってしまいます。

生物多様性を
守るために
何ができるかな？



こんなことにも役立つ生物多様性

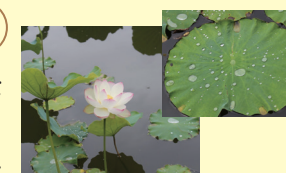
生きものや自然の形、仕組みをまねたり、そこからヒントをもらって、生活に役立てることを「バイオミクリー」とよんでいます。



引用:環境省生物多様性ウェブサイト

新幹線の先頭車両の形

カワセミのくちばしをヒントに形を工夫して、走る音を小さくすることができた



舞鶴公園のハス 写真提供:(公財)福岡市緑のまちづくり協会

水をはじく布

ハスの葉の表面が水をはじく仕組みをヒントに開発